

第2回

The 2nd Japanese Association of
Re-work for Depression Annual Convention



日本うつ病リワーク協会 年次大会 福井大会

笑顔をとりにもどすために



プログラム・抄録集

会期 2019年4月20日(土)・21日(日)

大会長 松原 六郎
公益財団法人 松原病院 代表理事

会場 AOSSA 8F 福井県民ホール
6F 福井市地域交流プラザ

The 2nd Japanese Association of Re-work for Depression Annual Convention

第2回 日本うつ病リワーク協会年次大会 福井大会

プログラム・抄録集

～笑顔をとりにもどすために～

主催 ● 一般社団法人 **日本うつ病リワーク協会**

共催 ● 一般社団法人 **福井県医師会**

後援 ● 福井県、福井市、一般社団法人 福井市医師会、
日本精神科病院協会福井県支部、福井県精神科病院・診療所協会、
公益社団法人 福井県看護協会、日本精神科看護協会福井県支部、
福井県精神保健福祉士協会、一般社団法人 福井県作業療法士会、
福井県臨床心理士会、福井新聞、FBC、福井テレビ、
公益財団法人 福井観光コンベンションビューロー

会期

2019年4月19日金 プレコンベンション
2019年4月20日土・21日日 本大会

会場

AOSSA (福井県福井市手寄1-4-1)

大会長

松原 六郎 公益財団法人 松原病院

INDEX

ご挨拶	1
交通アクセス	2
会場案内図	3
参加者へのご案内	4
発表者へのご案内	7
日程表	10
プログラム	12
単位取得表	22
抄録	
特別教育講演	25
公開講座	27
シンポジウム1	29
シンポジウム2	33
シンポジウム3	37
教育セッション1	41
教育セッション2	43
委員会報告	45
口頭発表1	49
口頭発表2	55
ポスター発表	61
プレコンベンション イブニングセミナー	99
ランチョンセミナー1	103
ランチョンセミナー2	105
ランチョンセミナー3	107
ランチョンセミナー4	109
共催・後援・協賛等 一覧	112
運営組織図	113

第2回日本うつ病リワーク協会 年次大会 福井大会

ご 挨拶

大会長 松原 六郎

公益財団法人 松原病院 代表理事

2019年4月20日(土)と21日(日)に、福井県福井市にあります駅横交流スペース AOSSAにて、第2回日本うつ病リワーク協会年次大会福井大会を開催することになりました。

2008年に発足したうつ病リワーク研究会は10年の歳月に亘って発展を続け、2018年2月には一般社団法人日本うつ病リワーク協会が設立されました。所属する医療機関は300機関を超え、会員数は1,000人に及ぶ勢いです。そして昨年には第1回の年次大会が福島県で開催され、あさかホスピタルのご尽力のもと、盛会に終わりました。

そのような流れを受けて、今回は、私どもの病院がありますここ福井県で、年次大会を開催させていただくことになりました。大変名誉なことと感じつつ、その責任に気が引き締まる思いでおります。

今回の大会テーマは「笑顔をとりにもどすために」です。医療領域で展開されるリワークは、利用者・患者さんを中心にして、精神科医、看護師、PSW、OT、心理士など多職種で関わるチーム医療・チームケアを基礎にして展開していきます。加えて、医療の枠組みを超えて、企業を軸に据えつつ、そこに属する産業医や産業保健師・看護師、人事課や労働安全衛生担当者などとも連携、協働していくことが、リワークを展開し、利用者・患者さん、ひいてはその家族や関係者の支援に必須であることはいまでもありません。利用者・患者さんを取り巻く周辺環境を一体的なものとして支援を行っていくことが重要であり、その意味では、広く地域コミュニティを念頭に置いた包括的なケアの一翼をリワークが担っていると見なせますし、その位置づけがますます重要視されるのではないのでしょうか。と同時に、現在のリワークを持続的により発展させ、質を高め、絶えず今よりもより一歩前進させていく必要性も社会から要請されていると思われまます。

本大会では、様々な講演やシンポジウムを企画しています。それらに参加することで得られる新たな知見は、きっと明日からの臨床に活かせる知識となることを期待しています。またポスター発表や口頭発表を通じて、現場のリアルな取り組みを知っていただき、またそれらをそれぞれが自院に持ち帰り、応用、発展的に活かせてもらえると幸甚に存じます。

本会期中、桜の季節は終わっているかもしれませんが、大会会場近くの足羽川河川敷の桜は大変有名です。また東尋坊に永平寺、そして、今回の大会のモチーフにしました「恐竜」で有名な勝山市の福井県立恐竜博物館等など、福井県は見所多くバラエティに富んだ地です。海の幸、山の幸にも恵まれておりますし、大会の合間に、それらを堪能していただければありがたいです。

是非とも多数の皆様のご参加を心よりお待ちしております。

交通アクセス

会 場：AOSSA 福井市手寄1丁目4番1号



交通のご案内

■ JR北陸本線「福井駅」東口より徒歩1分

■ 小松空港より約60分

小松空港からJR福井駅までの連絡バスの時刻表、乗り場等詳細については、小松空港又は京福バスのホームページでご確認いただけます。

小松空港のホームページ

http://www.komatsuaairport.jp/komatsusypher/www/access/timetable_jr_fukui.html

京福バスのホームページ

<http://bus.keifuku.co.jp/air/komatsu.htm>

会場案内図

6F

**スタッフ認定
説明会会場**
4月20日(土)
14:00~14:30

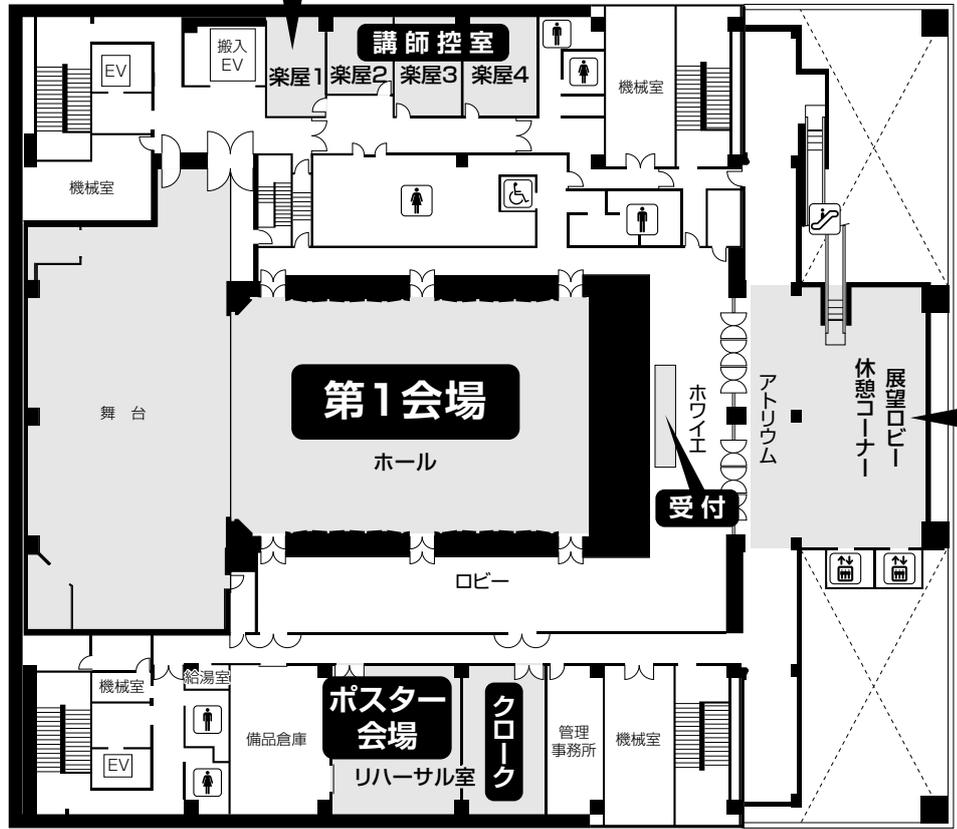
**リワーク施設認定
説明会会場**
4月20日(土)
15:00~17:30



**理事・評議員
総会会場**
4月20日(土)
12:00~13:00

8F

スタッフ控室



参加者へのご案内

受付場所

AOSSA 8階 県民ホール(第1会場) ホワイエ

受付時間

平成31年4月20日(土) 8時30分～9時30分

平成31年4月21日(日) 8時30分～9時00分

※プレコンベンション・イブニングセミナー参加者

受付場所：AOSSA 6階 研修室601B・C(第2会場)

受付時間：平成31年4月19日(金) 18時30分～19時00分

1. 当日参加申し込みの方へ

- (1) 参加費 会 員：6,000円
非会員：7,000円(抄録集は別途)
抄録集：1,000円

(2) 受付の流れ

- ① 会員、非会員ともに、会場受付に置いてあります「参加申込書」に必要事項をご記入ください。
 - ② 「当日参加受付」窓口に、参加申込書を提出いただき、参加費を現金でお支払いください(お釣りのないよう、ご協力をお願いいたします)。
 - ③ 引き換えに、ネームカードとネームホルダーをお渡しします。
また、宿泊先アンケート、大会参加アンケート、日本医師会生涯教育制度単位申告書(医師のみ)などをお渡ししますので、お受け取りください。
なお、個別の領収書の発行はいたしません。名札に添付されています領収書をご利用ください。
 - ④ お渡ししたネームカードに、ご所属、職種、お名前をご記入ください。
 - ⑤ 大会期間中、会場内では、ネームカードを必ず着用してください。
- ※**ネームホルダーは回収します**。お帰りの際に、受付にお渡しいただくか、回収ボックスにお入れください。

2. 事前参加登録をされた方へ

プログラム・抄録集とともに、参加証明証を郵送しておりますので、ご所属、職種、お名前をご記入の上、忘れずにご持参ください。

来場の際は、「事前参加受付」窓口にて、参加証明証の提示をお願いします。

受付時にネームホルダーをお渡しします。また、宿泊先アンケート、大会参加アンケート、日本医師会生涯教育制度単位申告書(医師のみ)なども合わせてお渡ししますので、お受け取りください。

なお、会期中、会場内では、ネームカードを必ず着用してください。

また、ネームホルダーは回収しますので、お帰りの際に、受付にお渡しいただくか、回収ボックスにお入れください。

《ご注意》 ホームページより事前登録をいただいた方で、入金締め切り日時までに参加費の振り込みがなかった場合は、当日参加扱いとなり、参加費の差額が発生します。予めご了承ください。

3. プログラム・抄録集

会員、及び事前参加登録をされた方には、事前に送付しておりますので、ご持参ください。
購入を希望される方には、1冊1,000円(税込み)で販売します。

4. 懇親会(情報交換会)

日 時：平成31年4月20日(土) 18時00分～20時00分

場 所：ウエルアオッサ(AOSSA 3階)…… 大会会場と同じ建物の3階です

会 費：4,000円

5. 会場内でのご協力とお願い

- (1) 発表者の許可なく、発表内容の撮影・録画・録音等は固く禁止いたします。
- (2) 発表や講演中は、携帯電話やスマートフォン等のご使用はお控えいただき、マナーモードにさせていただくか、電源をOFFにしてください。またパソコンのご使用もお控えください。

6. 会場内設備について

(1) クローク

場 所：AOSSA 8階 県民ホール リハーサル室(ポスター会場隣り)

対応時間：平成31年4月20日(土) 8時30分～18時00分

平成31年4月21日(日) 8時30分～16時00分

- 手荷物、コート類などをお預かりしますが、貴重品、壊れ物、食品類などはお預かりできません。

(2) 呼び出し業務 : 原則として、お呼び出しは行っておりません。

(3) 紛失物に関して : 会期中のお忘れ物や落とし物につきましては、総合受付にて保管しております。

(4) 託児室 : ご用意がございません。予め、ご了承ください。

(5) 喫煙スペース : 館内にはありません。建物1階の入り口付近の指定された喫煙場所をお願いします。

(6) 駐車場について : 車でお越しの方は、会場周辺の駐車場をご利用ください。
学会当日は駐車場の混雑が予想されますので、なるべく公共交通機関をご利用ください。

7. その他

(1) 昼食・飲食について

ランチョンセミナーのお弁当は、数に限りがあります。会場周辺の飲食店などをご利用ください。また会場内で飲食されたゴミは必ずお持ち帰りください。

(2) アンケートへのご協力をお願い

受付時にお渡しします、大会アンケートや宿泊アンケートへのご協力をお願い致します。お帰りの際に、受付にお渡しいただくか、回収ボックスにお入れください。

8. 各種会議のご案内

(1) 理事・評議員総会

日 時：平成31年4月20日(土) 12時00分～13時00分

場 所：AOSSA 6階 研修室601A

(2) スタッフ認定説明会

日 時：平成31年4月20日(土) 14時00分～14時30分

場 所：AOSSA 6階 研修室607

(3) リワーク施設認定説明会

日 時：平成31年4月20日(土) 15時00分～17時30分

場 所：AOSSA 6階 研修室607

(4) 委員会報告会(シンポジウム形式)

テーマ：リワークにおける地域連携の方法と実践

日 時：平成31年4月21日(日) 10時45分～11時45分

場 所：AOSSA 8階 県民ホール(第1会場)

9. 展示について

日 時：平成31年4月20日(土) 9時00分～17時00分

平成31年4月21日(日) 9時00分～15時00分

場 所：AOSSA 8階 アトリウム

展示企業：・帝人ファーマ株式会社

・株式会社日立製作所 ヘルスケアビジネスユニット

・インターリハ株式会社

10. 書籍販売について(勝木書店)

日 時：平成31年4月20日(土) 9時00分～17時00分

平成31年4月21日(日) 9時00分～15時00分

場 所：AOSSA 8階 アトリウム

11. 第3回年次大会開催案内(予定)

大橋昌資理事(響ストレスケア～こころとからだの診療所)の主幹で、2020年4月の土曜、日曜に山梨県甲府にて開催予定。

発表者へのご案内

1. 座長へのご案内

予めプログラム時間をご確認の上、設定された時間内で発表や討論が円滑に進行するようにご配慮をお願いいたします。

(1) 8階の「総合受付・講師／来賓受付」にて受付をお願いします。

その後、ご登壇の10分前までに控室にお入りください。

なお第1会場(8階 県民ホール)の登壇者は8階の「楽屋2～4」が、また第2会場(6階 研修室601B・C)の登壇者は6階の「講師控室」が控室となっています。

登壇者全員が揃いましたら、案内係が誘導します。

(2) 各会場には進行係があり、各演者の発表時間や討論時間を計測しています。

持ち時間が経過した場合はベルを鳴らしますので、ご協力をお願いします。

2. 発表者へのご案内

(ポスター発表以外の全ての発表者(講師、演者、シンポジスト、口頭発表者))

発表は全てパソコンによるプレゼンテーションとなります。

(1) 倫理的配慮について

世界医師会によるヘルシンキ宣言(その改訂版を含む)、及び日本精神神経学会の「臨床における倫理綱領」(精神神経学雑誌; 99, 525-531, 1997)等に記載された倫理規約に即し、発表にあたっては十分なインフォームド・コンセントを得て、プライバシーに関する守秘義務を遵守し、匿名性の保持に十分な配慮をしてください。

また、ご所属先の倫理審査委員会がある場合は審査を受けて承認されたことや、対象者に対して文書等で説明・同意を得たことを表示してください。

なおCOI(利益相反)に関しても、日本精神神経学会の指針に従うようにお願いします。

(2) 発表データの作成について

① プレゼンテーション用のソフトは Windows 版 Microsoft PowerPoint2010を準備しています。

② 文字フォントは PowerPoint に設定されている標準的なフォントをご使用ください。

推奨フォント：日本語…MS ゴシック、MSP ゴシック、MS 明朝、MSP 明朝
英 語…Century、Century Gothic

③ 作成された発表データは USB メモリー、または CD-R に保存して、8階受付の場所にあります「発表データ受付」窓口にお持ちください。お持ち込みの最終締め切りは、登壇の30分前までです。

なお、発表データを事前に提出いただいている場合は、こちらの作業は不要です。
(お預かりしたデータにつきましては、大会終了後に、責任をもって消去します)

④ 保存したデータのファイル名は、【セッション名+氏名】としてください。

なお各自、ウイルスチェックを行った上で、ご持参ください。

合わせて、トラブルに備え、ファイルのバックアップのご準備もお願いします。

⑤ PowerPoint 以外のソフト、もしくは Mac で作成されたデータを使用される場合は、パソコン本体のお持ち込みをお願いします。

なお Mac を使用する場合は、必ず付属の変換コネクタをご用意ください。
また、モニター出力端子は VGA ケーブル(D-sub15)を準備しています。

(3) パソコンのお持ち込みについて

パソコンは当方で準備しています。もしパソコンをお持ち込みになる場合は、以下の点にご留意ください。

- ①パソコンに保存されたデータの紛失を防ぐため、発表データは必ずUSBメモリー、またはCD-Rにバックアップ用として保存していただき、当日、ご持参ください。
- ②ACアダプターを必ずご用意ください。
- ③スクリーンセーバー、省電力設定、及びパスワード設定は事前に解除してください。

(4) その他、発表について

- ①8階の「総合受付・講師／来賓受付」にて受付をお願いします。
その後、ご登壇の10分前までに控室にお入りください。
なお第1会場(8階 県民ホール)の登壇者は8階の「楽屋2～4」が、また第2会場(6階 研修室601B・C)の登壇者は6階の「講師控室」が控室となっています。
登壇者全員が揃いましたら、案内係が誘導します。
- ②各会場には進行係がおり、各演者の発表時間や討論時間を計測しています。
持ち時間が経過した場合はベルを鳴らしますので、ご協力をお願いします。
- ③講演台にはノートパソコンを用意しています。発表者ご自身での操作をお願いします。
- ④各シンポジウムの発表時間は、以下の通りです。

セッション名	セッション時間	1人当たりの発表時間	総合討論
イブニングセミナー	60分	15分×3名	15分
シンポジウム1・2・3	120分	30分×3名	30分
口頭発表1・2	90分	15分×5名 (発表12分+質疑応答3分)	15分
委員会報告会	60分	15分×3名	15分

※口頭発表では、発表から8分目に1鈴、10分目に2鈴、12分終了時に3鈴ならします。

3. ポスター発表 発表者へのご案内

(1) 倫理的配慮について

世界医師会によるヘルシンキ宣言(その改訂版を含む)、及び日本精神神経学会の「臨床における倫理綱領」(精神神経学雑誌; 99, 525-531, 1997)等に記載された倫理規約に即し、発表にあたっては十分なインフォームド・コンセントを得て、プライバシーに関する守秘義務を遵守し、匿名性の保持に十分な配慮をしてください。

また、ご所属先の倫理審査委員会がある場合は審査を受けて承認されたことや、対象者に対して文書等で説明・同意を得たことを表記してください。

なおCOI(利益相反)に関しても、日本精神神経学会の指針に従うようにお願いします。

(2) ポスター発表データの作成について

「演題名・所属・氏名」部分と「本体ポスター」分の作成をお願いします。
「演題番号」は事務局で用意します。

① 演題名、氏名、所属貼付部分寸法

縦20cm×横70cm

参考) 演題名の文字の大きさ 144pt
(2行にわたる場合は100pt)

氏名、所属の文字の大きさ 72pt

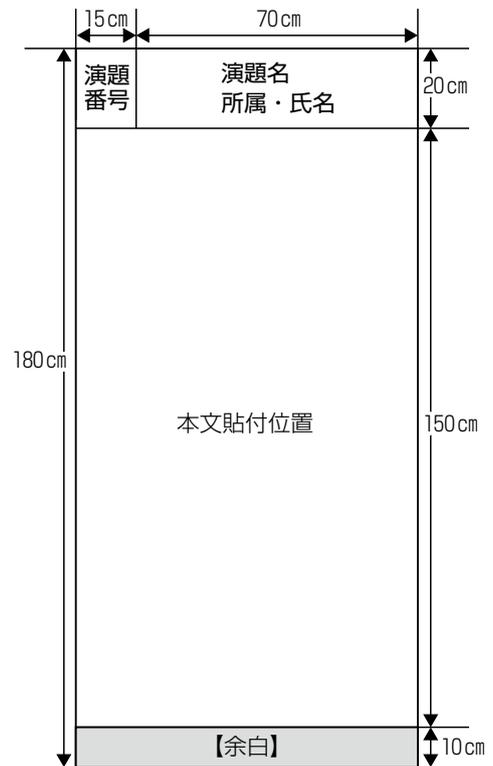
② 本文貼付部分寸法

縦150cm×横85cm

参考) 文字の大きさ 30pt 以上

注意) 本文は、図表、グラフ、写真含め、
縦150cm×横85cmの範囲内で作成
してください。

(目安 A0サイズ(118.9cm×84.1cm))



(3) その他、ポスター発表について

① ポスター会場

AOSSA 8階 リハーサル室…クロークの隣です。

ポスター会場に着きましたら、同会場(リハーサル室)にあります、「ポスター発表受付」で受付をお願いします。

受付にて、演題番号を確認し、ポスター貼付のための画鋏をお渡しします。

② ポスター掲示時間

平成31年4月20日(土) 10時00分～17時30分

平成31年4月21日(日) 9時00分～14時30分

なお、受付後、4月20日(土)8時30分よりポスターの貼付は可能です。演題番号をご確認の上、貼付をお願いいたします。

③ ポスター発表時間

平成31年4月21日(日) 11時00分～12時00分

発表時間内は、ポスター近くで待機し、対応をお願いします。

④ ポスター撤去時間

平成31年4月21日(日) 15時00分～15時15分

14時30分から撤去開始していただいて結構です。

15時30分までには撤去完了をお願いします。

なお撤去時間を過ぎても提示してあるポスターにつきましては、事務局にて撤去処分いたしますので、予めご了承ください。

1日目 2019年4月20日(土)

医 CC1 (1) 日本医師会生涯教育講座単位(カリキュラムコード、単位数)

産 (1) 認定産業医単位(生涯・専門)(括弧内は単位数)

精 (1) 日本精神神経学会単位(括弧内は単位数)

	第1会場 8F 県民ホール	第2会場 6F 研修室601(B・C)	ポスター会場 8F リハーサル室	6F 研修室601 (A)	6F 研修室 607
8:30 9:00	8:30~ 受付開始		9:00~10:00		
10:00	9:30~10:00 開会式		ポスター掲示		
11:00	10:10~11:40 医 CC0 (1.5) 産 (1.5) 精 (1) 特別教育講演 地域の中小企業への支援: 地域経済循環分析からみた うつ病リワークへの期待 座長:五十嵐 良雄 講師:伊藤 弘人		10:00 ~ 18:00 ポスター閲覧		
12:00	12:00~13:00 医 CC72 (1) ランチョンセミナー 1 成人のADHD診療 一病態に即した対応を目指して~ 座長:東間 正人 演者:近藤 毅	12:00~13:00 医 CC70 (1) 産 (1) ランチョンセミナー 2 産業医の立場から見たうつ病からの復職 の5つのポイント ~リワークの必然性と課題~ 座長:岡 敬 演者:市来 真彦		12:00 ~13:00 理事・ 評議員 総会	
13:00	13:15~15:15 医 CC12 (2) 産 (2) 精 (2) シンポジウム 1 企業の復職に向けての 取り組みとリワークとの連携 座長:横山 太範 シンポジスト:貴志 英生 花井 直人 西出 由華	13:15~15:15 医 CC70 (2) 精 (2) シンポジウム 2 うつ病治療の新たな試み 座長:徳永 雄一郎 シンポジスト:鬼頭 伸輔 寺田 浩 中前 貴		14:00 ~14:30 スタッフ認定説明会	
15:00	15:30~17:30 医 CC5 (2) 精 (2) シンポジウム 3 リワークにおける家族支援 座長:秋山 剛 シンポジスト:永田 彩 桑原 主税 田原 智昭	15:30~17:00 口頭発表 1 座長:岡 敬			15:00 ~ 17:30 リワーク施設認定説明会
18:00	18:00~20:00 懇親会 会場:アオッサ3階 ウェルアオッサ				

2日目 2019年4月21日

医CC1(1) 日本医師会生涯教育講座単位(カリキュラムコード、単位数)

産(1) 認定産業医単位(生涯:専門)(括弧内は単位数)

精(1) 日本精神神経学会単位(括弧内は単位数)

第1会場 8F 県民ホール		第2会場 6F 研修室601(B・C)		ポスター会場 8F リハーサル室
8:30	8:30~ 受付開始			
9:00	9:00~10:30 医CC10(1.5) 産(1.5) 精(1) 教育セッション 1 うつ病リワークに必要な体制と技術 座長: 松原 三郎 講師: 五十嵐 良雄	9:00~10:30 医CC70(1.5) 産(1.5) 精(1) 教育セッション 2 青年期における抑うつの特徴と対応 座長: 尾崎 紀夫 講師: 鈴木 太	9:00 ~ 11:00 ポ ス タ ー 閲 覧	
11:00	10:45~11:45 委員会報告会 リワークにおける地域連携の方法と実践 座長: 森田 哲也 演者: 枝川 由香利 川内 昌平 大橋 昌資		11:00 ~12:00 ポ ス タ ー 発 表	
12:00	12:00~13:00 医CC0(1) ランチョンセミナー 3 大学病院におけるリワークや 実存的アプローチ 座長: 五十嵐 良雄 講師: 寺尾 岳	12:00~13:00 医CC70(1) ランチョンセミナー 4 抑うつの妊産婦を理解し、支える: 産後うつ予防健診実施を踏まえて 座長: 小坂 浩隆 講師: 尾崎 紀夫	12:00 ~ 15:00 ポ ス タ ー 閲 覧	
14:00	13:30~15:00 公開講座 こころを元気にする4つのステップ 座長: 小坂 浩隆 演者: 大野 裕	13:30~15:00 口頭発表 2 座長: 片山 寛人		
15:00	15:15~15:30 閉会式		15:00~15:15 ポスター撤去	

プログラム

プレコンベンション 4月19日(金)

19:00～20:00 **イブニングセミナー** [医CC70(1)] [産(1)]

第2会場(6階 研修室601B・C)

[地方におけるうつ病からの職場復帰]

座長：秋山 剛 (NTT 東日本関東病院 精神神経科 部長)

ES-1 職場における対人関係からみた復職支援

○岡 敬¹⁾²⁾

1) 特定医療法人十全会 十全病院、2) 特定医療法人十全会 Jクリニック

ES-2 地方都市におけるうつ病からの職場復帰

○貴志 英生

医療法人英和会 貴志医院

ES-3 当社のメンタルヘルス活動と職場復帰支援への取り組み

○齊藤 明美

株式会社 UACJ 板事業本部 福井製造所 安全衛生室・人事室

1日目 4月20日(土)

9:30～10:00 **開会式**

第1会場(8階 県民ホール)

1 大会長挨拶

大会長：松原 六郎 (公益財団法人 松原病院 代表理事)

2 来賓挨拶

福井県

大中 正光 一般社団法人福井県医師会 会長

黒田 譲 独立行政法人労働者健康安全機構 福井産業保健総合支援センター 所長

10:10～11:40 **特別教育講演** [医CC0(1.5)] [産(1.5)] [精(1)]

第1会場(8階 県民ホール)

座長：五十嵐 良雄 (医療法人社団雄仁会 メディカルケア虎ノ門 理事長)

地域経済循環分析からみたうつ病リワークへの期待 — 地域の中小企業への支援 —

伊藤 弘人 独立行政法人労働者健康安全機構 労働安全衛生総合研究所
過労死等防止調査研究センター センター長

- 医 CC1(1) 日本医師会生涯教育講座単位(カリキュラムコード、単位数)
産(1) 認定産業医単位(生涯:専門)(括弧内は単位数)
精(1) 日本精神神経学会単位(括弧内は単位数)

12:00～13:00 **ランチョンセミナー1** 医 CC72(1) 第1会場(8階 県民ホール)

座長: 東間 正人(医療法人社団青樹会 青和病院)

成人の ADHD 診療 一病態に即した対応を目指して一

近藤 毅 琉球大学大学院 精神病態医学講座

12:00～13:00 **ランチョンセミナー2** 医 CC70(1) 産(1) 第2会場(6階 研修室601B・C)

座長: 岡 敬(特定医療法人十全会 十全病院 理事長)

産業医の立場から見たうつ病からの復職の5つのポイント ～リワークの必然性と課題～

市来 真彦 東京医科大学 精神医学分野

12:00～13:00 **理事・評議員 総会** (6階 研修室601A)

13:15～15:15 **シンポジウム1** 医 CC12(2) 産(2) 精(2) 第1会場(8階 県民ホール)

[企業の復職に向けての取り組みとリワークとの連携]

座長: 横山 太範(医療法人社団心劇会 さっぽろ駅前クリニック 院長)

S1-1 福井県庁の職場復帰プログラムについて

- 貴志 英生
医療法人英和会 貴志医院

S1-2 職場連携の取り組み

- 花井 直人
医療法人社団心劇会 さっぽろ駅前クリニック 北海道リワークプラザ

S1-3 職場復帰の取り組みとメンタルヘルス不調者への対応

- 西出 由華
東洋紡株式会社 敦賀事業所 第1診療所

[うつ病治療の新たな試み]

座長：徳永 雄一郎(医療法人社団新光会 不知火病院 理事長)

S2-1 気分障害への反復経頭蓋磁気刺激療法と最近の話題

○鬼頭 伸輔

東京慈恵会医科大学 精神医学講座

S2-2 リワークにおける光トポグラフィ検査の応用

○寺田 浩

医療法人社団明光会 ころとからだのクリニック あおいクリニック

S2-3 難治性うつ病に対する脳深部刺激療法の可能性について

○中前 貴

京都府立医科大学大学院 医学研究科 精神機能病態学

14:00～14:30 **スタッフ認定説明会**

(6階 研修室607)

15:00～17:30 **リワーク施設認定説明会**

(6階 研修室607)

15:30～17:30 **シンポジウム3** 医CC5(2) 精(2)

第1会場(8階 県民ホール)

[リワークにおける家族支援]

座長：秋山 剛(NTT 東日本関東病院 精神神経科 部長)

S3-1 家族の力を引き出す支援を

○永田 彩

医療法人栄仁会 京都駅前メンタルクリニック バックアップセンター・きょうと

S3-2 依存症家族支援をモデルにしたリワーク・ファミリーグループ
～家族が安心できる居場所を目指して～

○桑原 主税

医療法人寛容会 森口病院

S3-3 復職目的の利用者家族に対する、連携型家族支援

○田原 智昭

横浜市総合保健医療センター

- O-01** うつ病リワークにおける集団の視点を取り入れた支援とその技法について
—容れ物としての集団の機能—
○荒木 章太郎
医療法人社団爽風会 心の風クリニック
- O-02** 働きやすさを構築するためのリワークプログラムの在り方について
～集団プログラムが持つ役割～
○田嶋 祐一郎、龍 亨、品川 純子、山崎 洋子、徳永 雄一郎
医療法人社団新光会 不知火病院
- O-03** 当院リワークプログラムの性質と課題
○田村 悠、茂木 孝太、能島 沙季、宮本 礼子、登坂 由香
社会医療法人財団松原愛育会 松原病院
- O-04** 休職を繰り返す人へのリワーク支援
—再利用者向けプログラム「 α (アルファ)」—
○高橋 望
医療法人社団雄仁会 メディカルケア虎ノ門
- O-05** うつ病リワークプログラム参加者のレジリエンスの傾向について
○佐藤 圭
医療法人社団新光会 不知火病院

9:00～10:30

教育セッション1

医 CC10(1.5)

産(1.5)

精(1)

第1会場(8階 県民ホール)

座長：松原 三郎(社会医療法人財団松原愛育会 松原病院 理事長)

うつ病リワークに必要な体制と技術

五十嵐 良雄 日本うつ病リワーク協会 理事長、医療法人社団雄仁会 理事長

9:00～10:30

教育セッション2

医 CC70(1.5)

産(1.5)

精(1)

第2会場(6階 研修室601B・C)

座長：尾崎 紀夫(名古屋大学大学院 医学系研究科 精神医学・親と子どもの心療学分野 教授)

青年期における抑うつの特徴と対応

鈴木 太 福井大学 子どものこころの発達研究センター 児童青年期こころの専門医育成部門

10:45～11:45

委員会報告会

第1会場(8階 県民ホール)

[リワークにおける地域連携の方法と実践]

座長：森田 哲也(株式会社リコー コーポレート統括本部 人事総務統括センター H&S 統括部 グループ統括産業医)

1 医療リワークの普及・啓発に向けた地域連携委員会の取り組み
— 啓発用パンフレット、パワーポイントの紹介 —

○枝川 由香利
品川駅前メンタルクリニック

2 リワーク手帳を用いた連携～地域連携委員会の取り組み
— 休職者と会社・主治医・リワーク施設間の連携で活用できるリワーク手帳の紹介 —

○川内 昌平
一般財団法人 信貴山病院分院 上野病院 リワークデイケア

3 地方都市(甲府盆地)におけるプログラム継続のための地域連携

○大橋 昌資
医療法人啓夏会 響ストレスケア～こころとからだの診療所

12:00～13:00

ランチョンセミナー3

医 CC0(1)

第1会場(8階 県民ホール)

座長：五十嵐 良雄(医療法人社団雄仁会 メディカルケア虎ノ門 理事長)

大学病院におけるリワークや実存的アプローチ

寺尾 岳 大分大学医学部 精神神経医学講座

座長：小坂 浩隆(福井大学医学部医学科 病態制御医学講座 精神医学 教授)

抑うつ的な妊産婦を理解し、支える：産後うつ予防健診実施を踏まえて

尾崎 紀夫 名古屋大学大学院 医学系研究科 精神医学・親と子どもの心療学分野

座長：小坂 浩隆(福井大学医学部医学科 病態制御医学講座 精神医学 教授)

こころを元気にする4つのステップ

大野 裕 一般社団法人 認知行動療法研修開発センター 理事長

座長：片山 寛人(医療法人カンマ こころとからだクリニック福井 理事長)

O-06 教職員に対する復職支援のありかた ～当院リワーク室の事例を通して～

○久保田 嘉子

社会医療法人智徳会 未来の風せいわ病院 リワーク室

O-07 リワークプログラムの効果を高める工夫 —外来診察における行動の機能分析による評価及び助言—

○岡本 章宏

特定医療法人 嶺南こころの病院

O-08 ADHDの方へのリワークプログラム ～アフターフォローとしてリワークメール相談を利用し仕事継続中のケース～

○長沼 晃司

医療法人清潮会 三和中央病院

O-09 メンタルヘルス不調の休職者が苦手とするコミュニケーションとは ～SSTテーマの分析から～

○池田 隆一¹⁾、衣笠 玲子¹⁾、川口 準也¹⁾²⁾、長尾 卓夫¹⁾²⁾

1) 特定医療法人恵風会 けいふう心療クリニック、2) 特定医療法人恵風会 高岡病院

O-10 当院リワークプログラムにおける集団マインドフルネス療法の効果と課題について

○大磯 宏昭、山崎 祐子、村上 瞳

特定医療法人富尾会 桜が丘病院

- P-01** 復職準備性チェックリストの検証 ～復職の決め手となる項目について
 ○大仁田 広恵¹⁾、楳本 英典²⁾
 1)医療法人新光会 不知火クリニック、2)ジャパン EAP システムズ
- P-02** 休職に至る早期警告サインの明確化と職場における観察視点の確立に向けた調査
 ○佐藤 大輔¹⁾³⁾、安保 寛明²⁾
 1)社会医療法人二本松会 山形さくら町病院、2)山形県立保健医療大学 看護学科、
 3)山形県立保健医療大学大学院 保健医療学研究科 博士後期課程
- P-03** 当院リワークプログラムにおける NEAR の神経認知機能に対する有効性と課題
 ○能勢 隆宏、畑谷 直子
 特定医療法人十全会 十全病院
- P-04** 医療リワークで再就職支援を行う中でのインプレッション
 ～現状と今後について
 ○藤井 朋広
 医療法人栄仁会 京都駅前メンタルクリニック バックアップセンター・きょうと
- P-05** リワークデイケアでのミーティングプログラム『実りの会』の実践報告
 ○高橋 功樹
 医療法人社団有朋会 栗田病院
- P-06** 自己記入式ストレスマップから見た復職支援プログラム参加者の特徴
 —ストレス反応の記述に焦点を当てて—
 ○野上 裕二、山下 秀一、大仁田 広恵
 医療法人新光会 不知火クリニック
- P-07** SST プログラムを中心とした取り組みが発達障害傾向を有する利用者
 に与えた効果について
 ○小林 也紗
 医療法人社団有朋会 栗田病院
- P-08** 当センターで実施したストレスチェックの傾向
 —高ストレス職種の年代別・男女別比較—
 ○天海 久、佐藤 奏恵、井上 綾乃、飯塚 倫子、吾妻 紗江、古川 薫、新国 寛之、
 平河内 美恵、植田 寛志
 あさかストレスケアセンター
- P-09** 当院のうつリワークデイケアの集団プログラムの報告
 ～文化祭の企画運営の取り組み～
 ○梶尾 都¹⁾、川口 加奈子¹⁾、小田 良光¹⁾、谷野 亮一郎²⁾、谷野 芙美子¹⁾
 1)医療法人社団和敬会 谷野医院 総曲輪デイケアセンター、2)医療法人社団和敬会 谷野呉山病院

- P-10** リワークプログラム参加者層の認知機能傾向とは？
～うつ病、双極性障害、適応障害の疾患別比較～
○松田 匡弘¹⁾、白岩 圭悟²⁾
1) 医療法人栄仁会 京都駅前メンタルクリニック バックアップセンター・きょうと、
2) 医療法人栄仁会 宇治おうばく病院
- P-11** 当院のリワークプログラムにおける効果と課題の検討(2)
～リワーク終了者による体験談プログラムの試み～
○中村 仁美、反田 克彦、飯島 文子、牛山 茜
あさなぎクリニック・心療内科
- P-12** リワークプログラムの中での役割がもたらす自己理解の検討
○山田 凌、平井 園恵、吉村 恵実、高見 栞、後藤 麻衣、井上 美華、尾毛谷 美津江、
杉坂 夏子、三崎 究
医療法人厚生会 福井厚生病院 ストレスケアセンター
- P-13** リワークプログラム参加者の抑うつ、不安、自尊感情の変化
○川崎 舞子
医療法人社団栄明会 一宮メンタルクリニック
- P-14** 自分と向き合う復職支援 ～自律性の獲得を目指して
○松本 敦、遠藤 裕史、山野 幸貴子、馬場 雄也、小野満 史枝、信田 広晶
医療法人社団心癒会 しのだの森ホスピタル
- P-15** うつ病リワークデイケアにおける家族心理教育
—アンケート調査から考える今後の工夫—
○宮寺 祐史、岩野 美和、横田 美根、岡本 正信、塩谷 典子、百瀬 千春
医療法人社団薫風会 田無メンタルクリニック
- P-16** 医療リワークにおける発達障害支援プログラムの構築
○飯田 高教、神崎 順次、大野 一人、馬淵 真衣
社会医療法人緑峰会 養南病院
- P-17** 就労年齢層の反復性経頭蓋磁気刺激療法(rTMS)の抗うつ効果
—rTMS後のリワークプログラム導入の一考察—
○宮地 雅之
公益財団法人 松原病院
- P-18** 従来型精神科デイケアから離れた“プレ”リワーク・グループの有用性
○金見 志穂、長尾 俊宏、土方 優実、原 広一郎
医療法人静和会 浅井病院 診療部 心理科
- P-19** うつ病休職者はどのような不安・悩みを抱えているのか？
～リワーク通所者の調査より～
○近藤 智
目白大学 保健医療学部 精神科領域

P-20 うつ病休職者の食生活習慣に関する調査及び時間栄養学的介入

○近藤 智
目白大学 保健医療学部 精神科領域

P-21 リワークプログラム参加者を対象としたウェアラブルデバイスを用いた身体状態を可視化する研究の紹介

○小原 右輔¹⁾、熊澤 良太²⁾、仮屋 暢聡¹⁾、松田 小織¹⁾、松田 英江¹⁾、樋口 友香¹⁾、孫 光鎬³⁾、榛葉 俊一¹⁾⁴⁾、松井 岳巳²⁾
1)医療法人社団 KARIYA まいんすたわーメンタルクリニック、
2)首都大学東京大学院 システムデザイン研究科、3)電気通信大学大学院 情報理工学研究科、
4)静岡済生会総合病院

P-22 利用者の視点によるリワークプログラムの意義について
～実践しているプログラムについての検証～

○小泉 恭子
医療法人杏和会 阪南病院

P-23 心理アセスメント導入前後の再休職率の比較

○黒田 優希、仲野 愛、辻 尚子、西島 茜、小林 真実、松原 六郎
公益財団法人 松原病院

P-24 入院治療は、退院後の安定したリワーク通所につながるか

○森陰 瑞生
公益財団法人 松原病院

P-25 当院リワークにおけるプログラム運用の課題と対策

○茂木 孝太、能島 沙季、宮本 礼子、田村 悠、登坂 由香
社会医療法人財団松原愛育会 松原病院 すみれ台デイケアりらいふ

P-26 個別相談で優れた点をフィードバックしたことで出席が改善した事例

○富田 俊之
医療法人秀山会 白峰クリニック

P-27 かなめクリニックでの効果の現状

○前田 エミ、要 齊、大戸 浩之、森田 めぐみ、原田 智恵子、小山 雅子、家永 千夏、牧野 加寿美、大田 奈緒、中内 祥子、樋口 明子、斎藤 嘉隆
医療法人要会 かなめクリニック

P-28 当院リワーク利用者の復職後のフォローにおける現状と課題

○山本 智美¹⁾²⁾、大橋 昌資¹⁾、塚原 葉子¹⁾、藤原 マリ子¹⁾、藤原 茂樹³⁾
1)医療法人啓夏会 響ストレスケア～こころとからだの診療所、2)日本臨床心理研究所、
3)医療法人翠風会 藤原医院

P-29 客観指標を用いた睡眠衛生指導の効果 ―好事例報告を通して―

○上田 和希
ナカトミファティーグケアクリニック 復職支援プログラム SPICE

- P-30** 地方におけるリワーク運営の実践報告
— 利用者の参加経路の変化と普及啓発についての考察 —
○西村 聡美、垣田 和美、長井 景子
特定医療法人十全会 十全病院
- P-31** 地方都市におけるリワークプログラム継続のための地域連携
○大橋 昌資¹⁾、山本 智美¹⁾²⁾、塚原 葉子¹⁾、藤原 マリ子¹⁾、藤原 茂樹³⁾
1) 医療法人啓夏会 響ストレスケア～こことからだの診療所、2) 日本臨床心理研究所、
3) 医療法人翠風会 藤原医院
- P-32** 再休職を妨げるリワークの効果 ～利用者の心理的背景を中心に～
○登坂 由香、茂木 孝太、能島 沙季、宮本 礼子、田村 悠
社会医療法人財団松原愛育会 松原病院
- P-33** 心理療法に特化したリワークプログラムに関する実践報告(6)
～メンバーコミュニティについての考察～
○亀井 宗、木下 芳美、唐渡 雅行
医療法人清聖会 とわたり内科・心療内科
- P-34** 当院リワークプログラムにおけるフォローアップ体制の構築
○古久保 秀夫¹⁾、山口 佳良子¹⁾、横田 淳¹⁾、上堀内 洋允¹⁾、山口 千晴¹⁾、
進藤 太郎¹⁾²⁾
1) 医療法人唐虹会 虹と海のホスピタル、2) 福岡大学医学部 精神医学教室
- P-35** 成人の発達障害の方を対象とする集団プログラム
『Monthly Com's』(マンスリー・コムズ)
○高橋 望
医療法人社団雄仁会 メディカルケア虎ノ門
- P-36** リワークプログラムの効果を高めるための工夫
～当院での医療リワークと職場の連携～
○岡本 利子、藤原 慎太郎、金山 秀彦、岡本 章宏
特定医療法人 嶺南こころの病院
- P-37** 当院における復職後のフォローアップ体制構築の取り組みと課題
○飯島 優子
医療法人社団 雄仁会 メディカルケア虎ノ門

単位取得表

〈日本医師会生涯教育 単位〉

特別教育講演、ランチョン／イブニングセミナー、シンポジウム、教育セッションは、日本医師会生涯教育制度の単位申告の対象となります。

8階「受付」で「申告書」をお配りしますので、必要事項を記入し、参加最終日（お帰りの際）に申告書を受付にご提出ください。

- 福井県医師会会員の先生方は「医籍登録番号」の記載は不要です。
- 県外から参加の先生や福井県医師会の会員でない先生方は、「医籍登録番号」の記載が必要となります。
（記載がない場合は申請できませんので、必ず記載ください）

- 後日に提出される場合、期限は1週間以内となっております。
（1週ンを越えての申請は受付できません）

事務局まで、FAX もしくは E-mail にてご返送ください。

FAX 番号：(0776) 27-2827（公益財団法人松原病院）

E-mail：utsurework19@fmatsubara.com

なお CC（カリキュラムコード）は重複しての取得はできませんが、単位数は加算されます。

〈日本医師会認定産業医 単位〉

特別教育講演、ランチョン／イブニングセミナーの一部、シンポジウムの一部、及び教育セッションは、日本医師会認定産業医の単位申請の対象となります。

但し、既に認定産業医の資格を取得されている方のみが単位を取得できます。

（今後、産業医を目指される方（新規取得者）の場合には、今回の単位は付与できません）

区分（項目）：生涯・専門

単 位 数：会期中で合計8.5単位

但し、1日で取得できる単位の上限は5単位までです

- 対象の講座受講前に、各会場前にて申請用紙を受け取ってください。申請用紙にお名前とご所属を記入の上、講座終了後に8階「単位申請受付」まで提出してください。

〈日本精神神経学会 専門医単位〉

特別教育講演、シンポジウム、教育セッションは、日本精神神経学会の専門医単位申請の対象となっています。

なお1会期中で3単位の取得が上限となっています。

- 会期中に、一度、受付にあります「研修ポイント受付」にお立ち寄りください。
(会期中であれば、どの時間帯でも結構です)
申請の際には、「日本精神神経学会 会員カード」の提示が必要です。
(カードリーダーで読み取り、参加登録します)

〈日本臨床心理士資格認定協会 ポイント〉

本会は、「臨床心理士教育・研修規定別項」第2条第4項に該当するポイント(短期型・ワークショップ)付与の対象となっています。

なお参加証明証は名札に添付されていますので、申請の際に、ご活用ください。

〈日本作業療法士協会研修ポイント〉

本会は、一般社団法人日本作業療法士協会「生涯教育基礎コースポイント」付与の対象となっています。

なお参加証明証は名札に添付されていますので、申請の際に、ご活用ください。

A series of horizontal dashed lines for writing.

特別教育講演

4月20日(土) 10:10～11:40

第1会場(8階 県民ホール)

地域経済循環分析からみた うつ病リワークへの期待 — 地域の中小企業への支援 —

伊藤 弘人

独立行政法人労働者健康安全機構 労働安全衛生総合研究所
過労死等防止調査研究センター センター長

座長：五十嵐 良雄 (医療法人社団雄仁会 メディカルケア虎ノ門 理事長)

地域経済循環分析からみたうつ病リワークへの期待 — 地域の中小企業への支援 —

伊藤 弘人

独立行政法人労働者健康安全機構 労働安全衛生総合研究所
過労死等防止調査研究センター センター長

昨年6月に国会で可決・成立した働き方関連法に基づき、2019年4月から勤務時間の上限規制が始まる。産業医の機能も強化され、人手不足が深刻化する現在、うつ病の早期発見、早期診断・治療、そして治療と仕事を両立しながらの復職を支援する（両立支援）を構造化したプログラムを提供することは、労働市場における必要不可欠な要素として重要な意味を持つ。世界保健機関（WHO）を含む国連や多国間の経済組織（OECD, APEC など）においても、5年ほど前から同様の文脈でメンタルヘルスケアへの期待が語られる機会が増加している。

ただし、働く「すべて」の人に目を向けると、見過ごされやすいテーマが残されていることに気づく。中小企業、特に労働者数50人未満の小規模の事業場で働く人々には、現在の働き方改革の恩恵は限定的なのである。その割合は、我が国の全事業場の96.4%（平成28年経済センサス速報値）、全労働者の59.4%（同）に及ぶ。これらの小規模事業には、産業医の選任義務はない。産業保健機能の手が届きにくいだけでなく、大企業の下請けをする企業も少なくないため、景気の影響を受けやすく、福利厚生制度も脆弱である。

どうすればよいのか。すでに精神科は、このようなグループに対して、丁寧な支援をしてきた。第1に、「うつ病や不安障害」と「重度精神障害者」の2グループに対してのバランスのよい支援である。精神科病床を有する全国の病院へ「職場のメンタルヘルス支援」に関するアンケートを実施したところ、ストレスケア専門入院機能のある病院では、職場のメンタルヘルスに関して、国際的に認められているプログラムの提供に関心がある傾向がみられている。

第2に、地域の地場産業・影響力の高い集積産業へのモデル的な支援である。地域経済循環分析（<https://resas.go.jp/#/18/18201>）を行うと、たとえば福井市では、「衣類」「繊維」「情報」産業は、他産業への影響率が高い。このことは、これらの産業が成長すると、福井市でクラスター化している他の産業への波及効果がある可能性がある。このような産業領域の労働者へのうつ病リワークを強化すれば、波及効果出てくる可能性がある。

第3は、農福（医）連携の可能性の模索である。農業と福祉との連携は、地域の課題解決手法のひとつとして注目されている。この活動に上手に医療が関わることには新たな可能性がある。たとえば松原病院の「こころファーム」では、自立性の高い運営をしており、「6次産業化」の芽生えも感じられる。

「働き方改革」「両立支援」が求められている今日、うつ病リワークへの期待は大きい。

第2回日本うつ病リワーク協会年次大会 福井大会
プログラム・抄録集

発行日：2019年3月26日

事務局：公益財団法人 松原病院

〒910-0017 福井県福井市文京2-9-1

TEL：0776-22-3717 FAX：0776-27-2827

E-mail：utsurework19@fmatsubara.com

出 版：株式会社セカンド

〒862-0950 熊本市中央区水前寺4-39-11 ヤマウチビル1F

TEL：096-382-7793 FAX：096-386-2025

<http://www.secand.jp/>

